

参考様式1-1

農山漁村発イノベーション等整備事業(定住促進対策型、交流対策型)事業実施計画

計画主体名	計画期間
ふくいけん みなみえちぜんちょう 福井県南越前町	令和4年度～令和6年度

<連絡先>

担当課	電話番号	FAX番号	メールアドレス
南越前町農林水産課	0778-47-8001	0778-47-3607	nousui@town.minamiechizen.lg.jp

【記入要領】

- 計画主体名
- ・市町村名にはふりがなをふること。
 - ・共同で作成する場合は、すべての計画主体を掲げるとともに、代表となる計画主体には(代表)と記載すること。
- 計画期間
- ・計画期間は活性化計画の計画期間を記入すること。
- 連絡先
- ・共同計画の場合は行を追加し、すべての計画主体の連絡先を記入すること。
- メールアドレス
- ・当該交付金に係る連絡に利用できるメールアドレスを記入すること。

I 事業活用活性化計画目標

事業活用活性化計画目標	事業活用活性化計画目標の設定根拠
農林水産物等の販売・加工促進	農林水産業においては、従事者の高齢化が進み、後継者や担い手が減少し、中山間地域を中心に耕作放棄地が増加傾向にある。併せて農産物の消費低迷により、総農家数は平成22年と令和2年を比較すると約39%減少しており、農業の衰退化が懸念されている。さらに本町の農業は、稲作中心であり、地域の特産となる園芸作物が少なく、園芸・果樹の振興が遅れている状況にある。このため、一年を通じて観光客とつながり、魅力ある農産物を提供する拠点となる交流型の園芸施設を整備することで農産物の販売促進が図られ、産業の振興と地域の活性化につなげる。

II 評価指標

第1評価指標(必須)	具体的数値目標	具体的数値目標の算出方法
交流人口の増加	12,534人増	【目標値】12,534人 - 【現状値】0人 = 12,534人増
第1評価指標の設定根拠		
本事業により整備する園芸施設等において見込まれる来場者数をもとに、目標値を設定する。 令和5年度:9,172人、令和6年度:13,826人、令和7年度:14,604人 3カ年平均:12,534人		
第2評価指標(任意)	具体的数値目標	具体的数値目標の算出方法
地域産物の販売額の増加	21,102千円増	【目標値】21,102千円 - 【現状値】0円 = 21,102千円増
第2評価指標の設定根拠		
本事業により整備する園芸施設等において見込まれる地域産物の販売額をもとに、目標値を設定する。 令和5年度:15,774,680円、令和6年度:22,453,640円、令和7年度:25,077,960円 3カ年平均:21,102,093円		
第3評価指標(必須)	具体的数値目標	具体的数値目標の算出方法
イベントの開催件数	6回/年	年間イベント回数 年6回
第3評価指標の設定根拠		
新たに整備する園芸施設において、交流人口の増加、販売額の増加に資するイベントを年6回程度実施する。 イベント内容:地域産物の収穫体験や即売会を実施する。		
評価期間(原則として3年間の効果発現状況を把握する期間)	評価報告予定年(評価期間の終了直後の9月末日まで)	
令和5年4月～令和7年3月	令和7年	

【記入要領】

全般

・必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。

事業活用活性化計画目標

・事業活用活性化計画目標の項目は実施要領の別紙に掲げる項目から選択するものとする。

評価指標

・評価指標の記載に当たっては実施要領及び「事業活用活性化計画目標の評価指標の設定について」により記入すること。

Ⅲ 活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標と交付対象事業の関連性

事業メニュー名	地区名	事業内容	事業規模等	実施期間	事業実施主体	全体事業費 (千円)	交付金要望額 (千円)	交付額 算定交付率	交付限度額 (千円)	活性化計画の目標及び 事業活用活性化計画目標との関連性	備考
地域連携販売力 強化施設	南越前町地区	地域連携販売力 強化施設(収穫体 験施設、低コスト 耐候性ハウス) 附帯施設整備 実施設計	収穫体験施設 10m×30m 1棟 ハウス整備 8.5m×81m 3棟 附帯施設 一式 実施設計 一式	令和4年度	越前たけふ農業協 同組合	182,802	75,741	1/2	75,741	一年を通じて観光客とつながり、魅力ある農産物を提供する拠点となる園芸施設を整備することで農産物の販売促進が図られるとともに、交流人口の増加と地域の活性化につながる。	
合 計											

【記入要領】

- ・必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。
 - ・創意工夫発揮事業である場合は、事業内容欄に一体として行う事業メニュー名及び一体的に行う必要性を併せて記載すること。
 - ・事業メニュー名欄には、実施要領の別表2の事業メニュー名を記入すること。
 - ・地区名欄には、事業の実施地区名を記入すること。
 - ・事業内容欄は、整備しようとする具体的な施設の内容を記載すること。
 - ・事業規模等欄は、施設ごとの棟数と床面積、林道や森林管理道等の場合は地区名と延長など、それぞれの事業内容に応じた事業規模を記載すること。
 - ・活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標との関連性欄は、これら目標を達成する上で、各々の事業の実施が必要な理由を記載すること。
 - ・「農泊」の取組を実施する場合には、備考の欄にどのように「農泊」と関連するかを明記すること。
- (※)「農泊」とは、農山漁村において、日本ならではの伝統的な生活体験や農山漁村地域の人々との交流を楽しむ滞在(農山漁村滞在型旅行)をいう。

IV 他の施策との連携に関する事項

連携する施策名	事業メニュー名	地区名	連携する施策と交付対象事業の関連性等
中山間地農業ルネッサンス事業実施要綱第2に定める地域別農業振興計画に基づく施策	地域連携販売力強化施設	南越前町地区	南越前町将来ビジョンに掲げる目指す将来の姿に向けた取組方針「都市農村交流による農業所得向上」の実現のための事業の一つとして当該事業を実施する。

【記入要領】

- ① 交付対象となる事業のうち、実施要領第6に掲げる施策と連携して実施する事業にあつては、連携施策名、連携施策の内容及び交付対象事業との関連性を記載すること。
- ② 連携する施策名には、実施要領第6に掲げる施策を記載すること。
- ③ 事業メニュー名欄には、実施要領の別表2の事業メニュー名を記載すること。
- ④ 地区名欄には、事業の実施地区名を記入すること。
- ⑤ 必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。

						備 考
令和〇年度			令和〇年度			
全体事業費	交付対象事業費	交付金額	全体事業費	交付対象事業費	交付金額	
円	円	円	円	円	円	
0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	